



九州大学 共創学部

コンセプト・カリキュラム・成果

～文理横断・融合教育の視点から～

中央教育審議会 大学分科会 大学振興部会
2022年 7月11日

九州大学 共創学部長 鎗木政彦



内容

1. 九州大学概要
2. 共創学部の設置経緯と構想
3. 構想の具体化—実施体制、入試、カリキュラムなど
4. 共創学部の卒業生の状況と今後の課題



1. 九州大学概要





九州大学概要

創立	1911年
学生数	約19,000(留学生数を含む)
教職員数	約8,000
学部	12(共創・文・教育・法・経済・理・医・歯・薬・工・芸工・農)

大学院(学府) 19

(人文科学府・地球社会統合科学府・人間環境学府・法学府・法務学府(ロースクール)・
経済学府・理学府・数理学府・システム生命科学府・医学系学府・歯学府・薬学府・工学府・
芸術工学府・システム情報科学府・総合理工学府・生物資源環境科学府・統合新領域学府・
マス・フォア・イノベーション関係学府)

キャンパス 5(伊都、馬出、筑紫、大橋、別府)



2. 共創学部の設置経緯と構想



共創学部の設置経緯1 / 3

第1フェイズ:構想(2009-2014)

2009 **グローバル30**(九州大学の国際化拠点整備事業)に「国際教養学部」設置を謳う

2009 **第2期中期目標・中期計画**に「国際教養学部(仮称)の設置に向けた検討体制を整備、制度設計に取り組む」を目標に掲げる

2014 **SGU**(スーパーグローバル大学等事業)の申請

- 「国際教養学部(仮称)」の設置
- 定員400名。留学生と日本人学生のClass share
- 2年次から各学部の国際コースに進学するか、ジェネラリスト養成の学際コースに進学
- 原則3ヶ月以上の海外交換留学



共創学部を設置経緯2/3

第2フェイズ:構想の枠組みの決定(2014)

2014 国際教養学部(仮称)構想WGで決定した方針

- 各学部の定員を拠出して105名規模の新学部を設置すること
- 新しい学部は、全学参加によって設置すること
- 新設する学部は、他大学にはない九州大学の研究の強みを活かした内容とすること
- 21世紀プログラムを包含したものとする

※21世紀プログラム:

九州大学にて2001年度からはじまった学部横断型 学士課程プログラム。定員26名、AO入試で選抜。学生はプログラム独自科目を学びながら、自分の問題関心にそって全学で開講されている授業を履修し、「専門性の高いゼネラリスト」を目指す。(2018年度から募集停止。)



共創学部の設置経緯3 / 3

第3フェイズ:構想の具体化・設置2014～2018)

2014 新学部設置に向けた情報共有会(全3回)

2014 新学部設置検討WG(第3次ワーキング)

2015.6 **新学部素案作成作業部会**(～10月)

- 新執行部のもとで、学部の理念・目的・養成人材像・3ポリシー等の再検討と取りまとめ。
- メンバー:岡本部会長(農学研究院)、ローレンス教授(基幹教育院)、緒方教授(基幹教育院)、木村准教授(基幹教育院)、久保教授(人文科学研究院)、鍋木教授(比較社会文化研究院)、富松教授(芸術工学研究院)
- この部会での構想案が共創学部の基本骨格となる。

2017.3 「設置の趣旨を記載した書類」を文科省に提出

2018.4 **共創学部開設**



素案作業部会案(2015年) 1/3

- 理念:九州大学の「国際性の原則」から、「世界の人々の発展に寄与し、世界の平和に貢献し、戦争の惨害から守る人材」の育成を掲げる
- 目的:「原理追求の学問を主眼とする既存学部とは異なり、さまざまな要素のグローバルな関係の変化から生み出される現実社会の課題に、学問領域を超えたさまざまな視点から取り組み、科学者コミュニティの枠を超えた人々と協力して課題解決に立ち向かう能力をもった学生を養成することを目的とする」

素案作業部会案(2015年) 2/3

- 人材像:「予想を超えた変化の中から、取り組むべき課題とは何かを設定し、企画構想力(デザイン力)をもって、課題解決の方策を提言できる人材」
- 学部教育の特徴:「優れた英語能力およびデザイン思考力をもって、社会的課題の設定、学際性(共創)による課題解決、課題解決案のプレゼンテーションの3つの能力を身につけ、そこから、社会構想力、経験(実行力)、表現スキル、さらには、全てを統合した、知の創造を学ぶことができる新しい学際的学部(creative science を目指したリベラル・アーツ的学部)」



素案作業部会案(2015年) 3/3

- 専門エリア
 - 人間・生命エリア
 - 人と社会エリア
 - アジアと日本エリア
 - 地球・環境エリア
- 全専門エリアの共通のテーマ「地球の持続可能性・フューチャーアースの諸問題の解決策を探る」を位置づける
- エリア横断の手法
 - データサイエンス、科学技術史、デザイン思考

3. 構想の具体化

一実施体制、入試、カリキュラムなど



教員組織の編成

【教育体制】 ※実数は専任教員、（ ）は科目担当教員

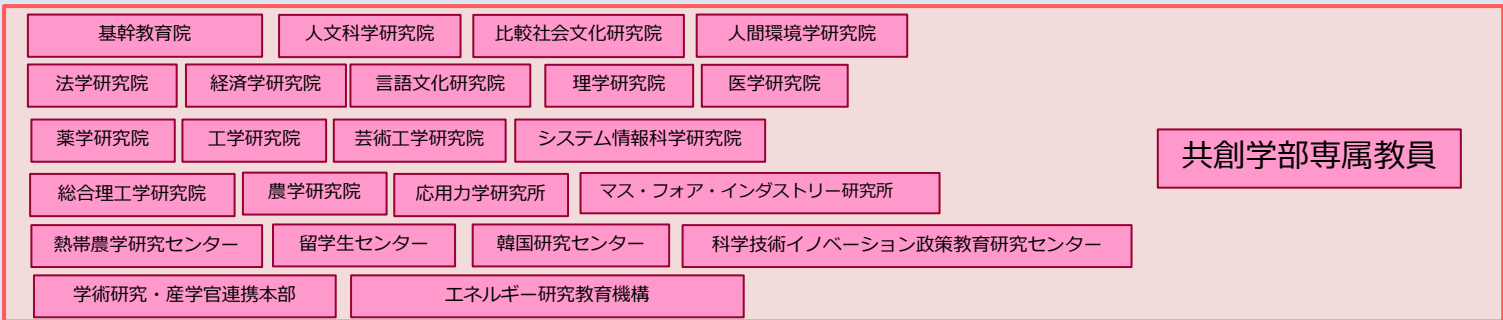
共創学部共創学科 学生定員105名 ←
教員83名 専任48→51名 (科目担当27→32名)

専門エリア	人間・生命	5→6	(4)
	人と社会	11→12	(6)
	国家と地域	8	(8)
	地球・環境	12	(6→7)
エリア横断等	データサイエンス	3→4	(1→2)
	科学論	1	(0→1)
	デザイン思考		(2→3)
	物理・数学	5	
	PBL/TBL	1	
	日本語教育	2	



国際交流 (アウトバウンド、インバウンド)
 2 (人間・生命、人と社会)

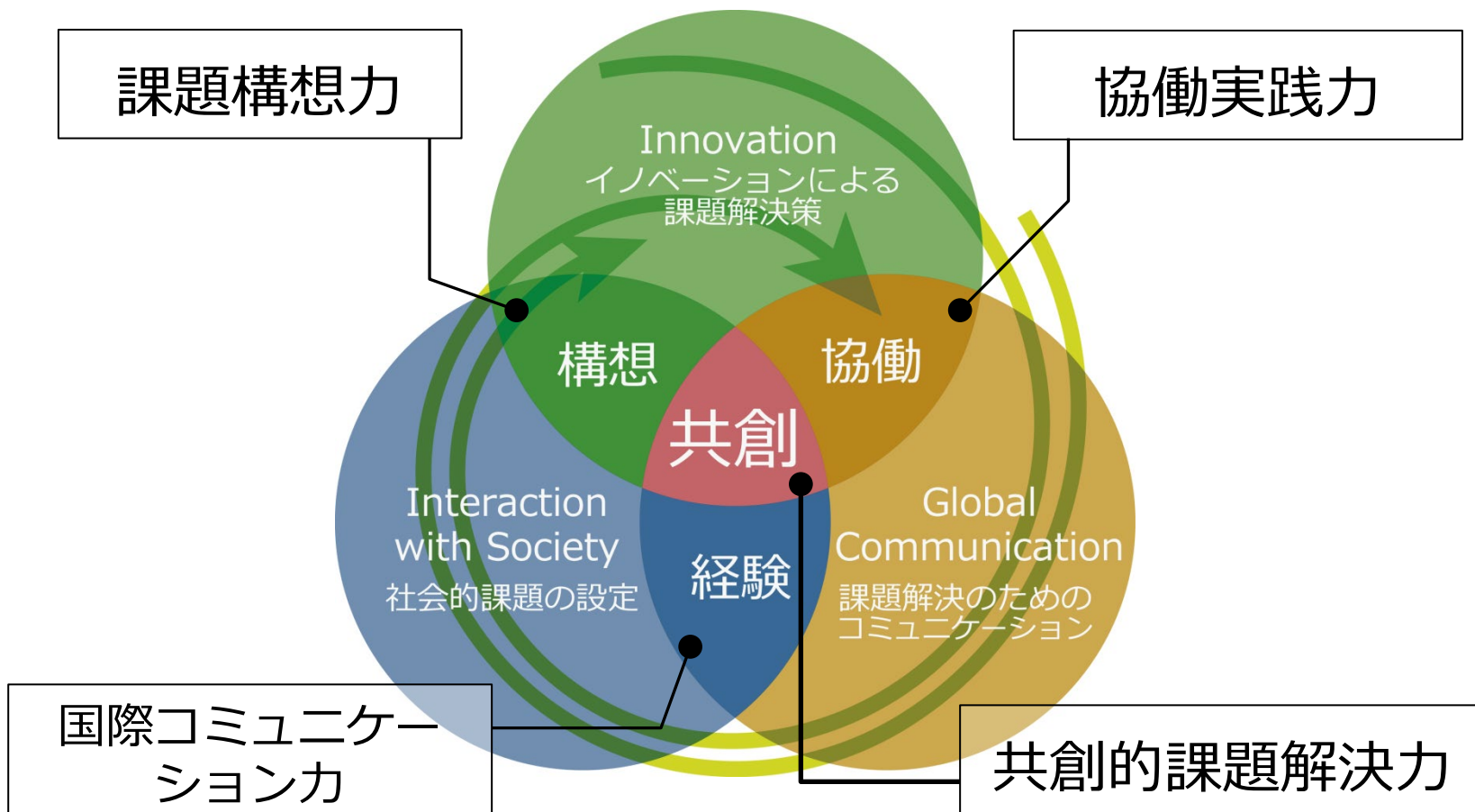
学府研究院制度による参画 (当初21部局、現在23部局)



学生定員、教員数、入学選抜

- 学生定員 105(九大全体の定員 2549 の 4.1%)
- 専任教員 51
- 科目担当教員 31
- 入試方法
 - 1) 総合型選抜(20)
 - 2) 学校推薦型(10)(大学入試共通テスト英数国)
 - 3) 一般選抜 (65)(英語、文系数学、小論文)
 - 4) 国際型入試(10) 帰国生徒、4月入学私費留学生(日本語)
10月入学私費留学生(英語)
- 入学者の特性
 - 男女比 44:56
 - 文理比(高校のクラス) 55:45

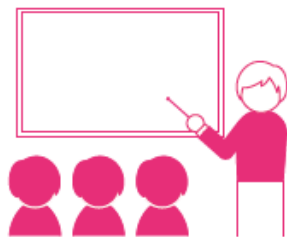
共創学部で育む4つの力



「構想」し、「協働」し、「経験」を積み、それらをまた「構想」に活かす・・・
このスパイラル・プロセスを繰り返す中で、新たな知や価値を生み出す

共創学部の特徴

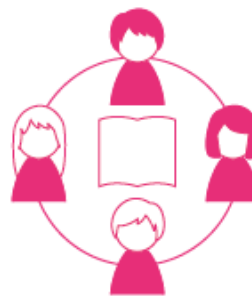
01 徹底した語学教育



02 課題解決型のカリキュラム



03 実践的な協働学習



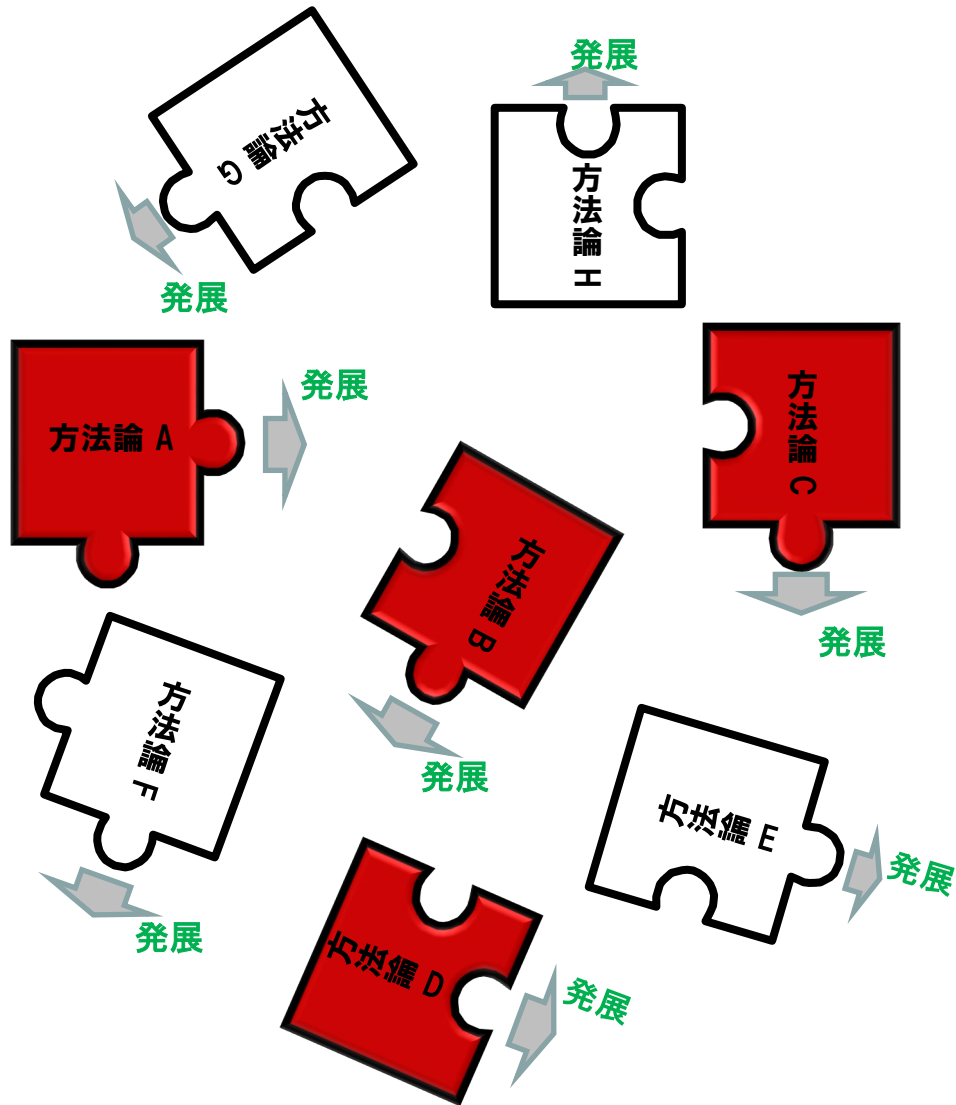
04 海外大学等への留学



05 留学生とのクラス・シェア



<ディシプリンベース（従来）の方法論>



<課題ベースの方法論>

ディシプリンベースの方法論を課題解決のために有機的かつ最適に関連づける

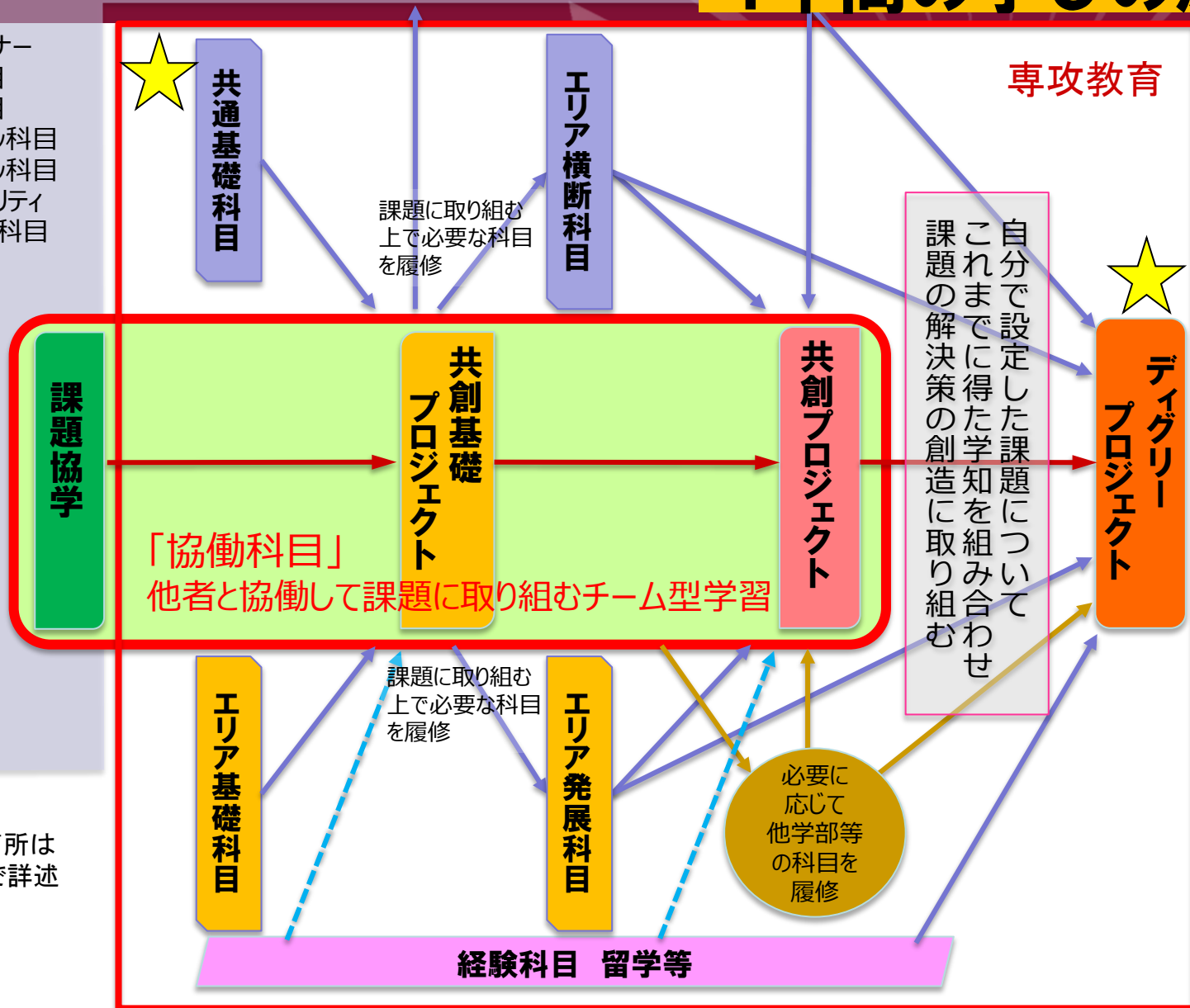


複数の専門分野にまたがる社会的課題の解決が可能



4年間の学びの流れ

- 基幹教育セミナー
- 課題協学科目
- 言語文化科目
- 文系ディプロマ科目
- 理系ディプロマ科目
- サイバーセキュリティ
- 健康・スポーツ科目
- 総合科目



共創的課題解決力Ⅱ「共創」の専門性を獲得

(注)星印の箇所は後のスライドで詳述





共通基礎科目

グローバルな課題解決に取り組むための基本7つ道具～**文理横断**で設定。また**英語と日本語**による授業を用意。

共創デザイン思考発想法：課題解決のための発想

データサイエンス基礎：データを扱う力

フィールド調査法：データを取ってくる力

科学論：科学リテラシー

複雑系科学入門：部分と全体(自然)

グローバル・エシクス：部分と全体(倫理)

グローバル・ヒストリー：部分と全体(歴史)



エリアという 新しい学びの場

文系・理系の枠を越 えた「文理融合型」 のカリキュラム

人間・生命エリア

生命の発生・進化や、人間の思考・認知・判断の仕組みなどを、生物学、認知科学、脳科学等を通じて学びます。

人と社会エリア

意思疎通における言語の仕組みや、先史社会、多文化共生、社会における生活実践としての福祉、宗教観などを、社会学、文化人類学、コミュニケーション学等を通じて学びます。

エリア横断

4つのエリアによる学びの共通の基礎となり、さらには構想を発展させる役割を担う横断的な科目、例えば「デザイン思考」、「データサイエンス」、「グローバル・ヒストリー」等を履修することにより、課題・問題の解決に必要な知識・能力を身につけます。

国家と地域エリア

国家や地域の歴史、特徴的な経済・社会現象、政治と経済の関係性などを、政治学、経済学、史学等を通じて学びます。

地球・環境エリア

地球がもつ資源や、地球環境の変化による災害、生命が環境に与える影響などを、地球惑星科学、社会・安全システム科学、生物学等を通じて学びます。



DP (ディグリー・プロジェクト) の事例

Aさん: 高校時代、文系クラス

基盤エリア: 地球・環境

「ヘラサギ類の今津干潟と周辺環境の利用状況から見る将来の水鳥保全と環境利用の展望」

→大学院(環境科学専攻)進学

Bさん: 高校時代 文系クラス

基盤エリア: 人と社会

「国産コーヒーの6次産業化に向けて-徳之島の事例-」

→民間企業(金融機関)就職

Cさん: 高校時代 理系クラス

基盤エリア: 国家と地域

「中国におけるインフラ投資が中国内陸部における日本企業の直接投資に与える影響 ～一帯一路政策におけるインフラ投資に着目して～」

→大学院(経済システム専攻)進学

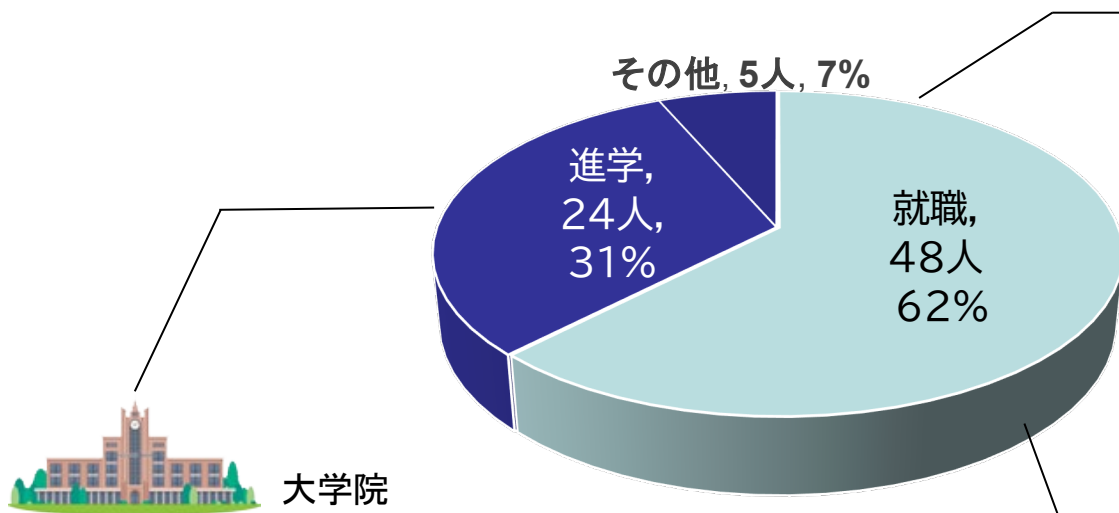


4. 共創学部の卒業生の状況と今後の課題



2022年3月卒業生の進路先

2022年3月卒業生：77人



大学院

■九州大学大学院

人文科学府、地球社会統合科学府、人間環境科学府、経済学府、生物資源環境科学府、システム情報科学府、統合新領域学府、芸術工学府、総合理工学府

■京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

■北海道大学環境科学院

■東京大学総合文化研究科広域システム科学系



民間等

- 金融：福岡銀行、三井住友銀行など
- 保険：日本生命保険相互会社など
- 教育：ベネッセコーポレーションなど
- 広報・広告・メディア関連：マツキャンエリクソン、INCLUSIVEなど
- 人材・コンサルティング：アクセンチュア、福岡商工会議所など
- 情報・通信：TIS、NTTドコモ、NTT西日本など
- 流通・小売：楽天グループ、イオン九州など
- 建設・不動産：大成建設など
- 工業・生活関連機器：パナソニックコネクト、オリエンタルモーターなど
- エネルギー：九州電力、新出光など
- 食品：久原本家グループ
- 家具・室内装飾：ニトリホールディングス
- アウトドア用品関連：モンベル

公的機関等



- 宮崎県、海上自衛隊
- 国立研究開発法人科学技術振興機構
- 国立大学法人九州大学
- 独立行政法人労働者健康安全機構



卒業生アンケートからみえてきた課題

1. 評価を受けた点

- 履修指導のあり方、クラスの規模などは概ね好評
- 授業のわかりやすさ、学生の自主学習の配慮、グループワーク、英語教育などについても肯定的

2. 指摘されている課題

- 授業の開講分野における偏り
- 各分野の専門性の体系的な学びの不充分さ

3. 今後取り組むべきこと

- 文理を越えて幅広く学ぶことの積極的意義を経験し、理解する機会を増やすこと



ご静聴ありがとうございました。